

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点教育目標】

『豊かな心の育成 礼儀正しさ・思いやり・粘り強さ』

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

「おごい教育」とは？

南が丘小学校長 佐藤 健

皆さんは「おごい教育」という言葉を聞いたことがありますか？

今から500年近く前、戦国武将・今川義元が、後の徳川家康となる竹千代を人質とした際、「敵の子には、おごい教育をせよ」と命じたとされています。その「おごい教育」とは…



『好きなだけ朝寝坊をさせ、贅沢なごちそうを与え、学問が嫌ならばさせず、何事も好きなようにさせよ。…そうすれば、大抵の人間は駄目になる。』

「おごい教育」とは、「甘やかすことで子ども自身の成長の機会を奪い、弱く無能にすること」でした。一見すると、子どもが喜ぶ優しい世話に見えて、長期的にはその子の未来を奪う、最も残酷な仕打ちです。このエピソードは、後の世の創作説もありますが、日頃から子どもたちと接する私たちにとって、深く考えさせられる逸話であることは、間違いありません。



心理学に『レジリエンス』という言葉があります。「困難やストレス、逆境に直面したとき、しなやかに立ち直り、適応する精神的な回復力・耐久力」を表す概念です。大木のように跳ね返す頑丈さというよりは、竹のようにしなやかに折れず立ち直る力に例えられます。

これは、様々な苦勞を「自分で考え、乗り越える」経験と、それを見守り、失敗しても受けて止めてくれる大人の存在によって後天的に育まれていくものです。私たち大人は、子どもの目の前の笑顔だけでなく、手元を離れた未来の幸せまで見通して接する責任があるのだと実感させられます。

かつては「苦勞は買ってでもせよ」とよく言われました。しかし、スマホやコンビニが普及して、好きな時に好きなことができる現代社会。私たちの子ども時代よりはるかに便利な「今と未来」を生きる子どもたちにとって、苦勞は「大人が意識して用意しなければ手に入らない高額商品」となっているのかもしれませんが。

（インターネットで「レジリエンス、子ども」と検索すると、たくさんのヒントが手に入ります。子どもの未来にプラスになる便利さなら、喜んで活用していきましょう。）

さあ、2学期のスタートです。かわいい子どもたちだからこそ、真に大切な経験をと願っています。

2学期が始まりました



芸術鑑賞会で影絵体験をする子どもたち（町文化会館）

夏休みを終え、子どもたち全員が元気に2学期始業日に登校しました。各学級で、夏休みの思い出を話したり、作品や自由研究の発表会を行ったりしました。子どもたちが友達の作品を見て「いいね!」「すごいね!」と声をかけている様子が見られました。

さて、2学期は、10月に学習発表会があります。5年生は宿泊研修に行ってきます。他の学年も地域の施設や工場などの見学学習を予定しています。学校では、様々な経験を通して、自分で考えて行動する、挑戦する、他者と協働する、決まりを守る、など、生きる力の土台を育てたいと考えています。心と体の健康に気を配り、一人一人の成長を支えていきます。

望ましい生活リズムの確立を

7月に、子どもたちの生活リズム改善の取組として、「生活リズムチェックシート」の調査を行いました。調査結果から、南が丘小の児童の実態で気になる点を3点挙げます。お子さんの生活リズムと照らし合わせて、改善が必要な点があれば、2学期開始の今のうちに整えていきましょう。



①朝食をとりましょう

脳や体にエネルギーを補給し、1日の活動的なスタートを切るために、朝食はとても大切です。朝食をとるために、朝早くに起き、夜は早めに寝ることになります。朝食をとることが、1日の生活全体の改善につながります。

②スクリーンタイムを制限しましょう

スマホなどの画面を見る時間が長いと、睡眠不足、集中力の低下、視力の低下につながる心が配です。調査によると、1日のスマホ等視聴時間が3時間以上の児童もいます。学校では、子どもたちに夜9時以降のネット通信機器の使用をせず、保護者に預けることを推奨しています。

③家庭での学習習慣（宿題+家庭学習ノート）をつけましょう

学校では、宿題を毎日出すようにしています。1日の家庭での学習時間【学年×10+10分以上】をめやすに取り組むことを呼びかけています。宿題の他に、自主学習の「家庭学習ノート」にも取り組んでいます。家庭での学習に取り組むことにより、学力向上だけでなく、自分で時間を管理し、自律心も育ちます。ご家庭で、お子さんに合わせた励まし方で、温かく見守ってくださるようお願いいたします。

暗くなる前にお家に帰りましょう

秋が近づき、日没の時刻が早まっていると感じます。放課後、子どもたちが外で暗くなるまで遊んでいることもあり、早く帰るように声を掛けることがあります。学校でこれまで定めていた子どもたちの「帰宅時刻のめやす」が日没時刻より遅くなる場合があったため、次のように変更します。

5月から9月までは17時30分(旧18時)

10月から4月までは16時00分(旧17時)

ご家庭では、お子さんが安全な放課後を過ごすように、帰宅時刻を含め、安全な遊び方の確認、交際ルールなど、今一度お子さんと話し合ってくださいますようお願いいたします。